

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

## 町職員の他市職員への流出について



質問者  
利根川 茂 議員

今年も町広報6月号により、町一般行政職等の募集がされ、9月には第2次試験も終わり合否が決定されると思います。松田町の未来を町民とともに創っていく有為な人材を採用されることを望みます。

さて、職業選択の自由は憲法で保障されておりますが、近年本町にかかわらず採用予定の応募年齢が40歳未満とする自治体が多くなっているため、20代から30代の職員が他市職員にトラバースする人が多く見受けられます。ある町では、その年齢の男子職員が極端に少なくなつたと言われています。

(1) 本町の実態とその原因は何ですか。

(2) 県下の町村の実態は、その対策を考えていますか。

### 採用時から注意を払います

回答 (町長)



(1) 近年10年間の状況を申し上げますと、毎年2名程度の職員が様々な理由により、退職をしています。理由は、個人・家族の都合で退職したものが10名、自身のスキルアップを目指して退職されたものが6名、その他の理由が6名です。職員養成を行っている途中での退職は、全体の戦力を弱

## 第6次総合計画の基本理念と施策の大綱について



質問者  
井上 栄一 議員

めてしまうことになる。このようなことが無いように、採用時から注意を払っている。

(2) 県内13町村でも、毎年1名程度の若手職員が他の自治体等へ転職して

いる。退職者を出さないためにも、公務員としての基礎研修や各課内での職員間によるフォローをすること、職員に安心・自信をつけてもらうよう対策を図っている。

2026年(平成38年)を目標年次とした「松田町第6次総合計画」の策定が進んでいるところだと思えます。

過日、「第6次総合計画の策定について」、「総合計画策定の考え方」及び「総合計画の骨子案」などの説明がなされました。計画策定中ですので、具体的な内容等については発表できないと思えます。ただ、第6次総合計画の基本理念及び施策の大綱についての考え方は

計画策定の基本だと思えます。そこで、「基本理念」及び「施策の大綱」の考え方向につきまして、町長の考えをお聞かせください。

### 総合計画は幸福度の向上を

回答 (町長)



第6次総合計画では、

松田町第6次総合計画とは、総合的・効率的な行財政の運営を図るための町づくりの指針となるもので、現在、平成31年度から38年度までの8年間の計画を策定しています。

「縁と清流、町民の心と命の源、全ての命を未来につなぎ育む松田町」を基本理念とする。新総合計画の策定では、「町民や地域と連携した協働のまちづくり」、「町民の安定的な暮らし」、「文化の継承・事業承継町民一人ひとりのまちづくり意識」を戦略課題とし、SDGsの考えを取り入れ、シビックプライド、「郷土愛」を持つ「人づくり」を進めて行くことを目標とする。

「全ての命を未来につなぎ育む」ため、町の地域資源を積極的に活かし、「地産外商」による地域経済循環で、町財政の健全化を図り、住民サービスの強化により幸福度の向上を促進することを第6次総合計画の将来像と考えている。